

628

九十一

北支戦況

我軍流河鎮を奪取 勇戦続行

(天津十日)天津軍司令部発表 津浦線方面に於ける我軍第一線は膠河を渡り流河鎮にありて勇戦続行 歩兵 砲兵 飛行機の緊密なる連携の下に午前十一時前後流河鎮を奪取せり 目下官軍は兩方面の馬廠河兩敵陣地に向ひ砲火を集中しつゝあり

戦闘長期持続を 充分覚悟すべし

杉山陸相の時局談

(東京十日)杉山陸相は本日閣議後記者会見 戦闘は各方面と著々初期の効果を得てゐるが一層奮起を要するとして可なり 戦闘を速やかに收斂せねばならぬと思ふ 戦は変化を遂げねばならぬのである 戦の長期に亘り戦は維持せらるべきと充分覚悟してゐる 戦は北支戦線 上海戦線共に戦闘は最近一段と進歩の度を示してゐる

戦闘は各方面と著々初期の効果を... 戦は北支戦線 上海戦線共に戦闘は最近一段と進歩の度を示してゐる

上海方面戦況

我が病院船に敵弾集注

(上海十日)午後三時頃より同船に敵弾集注 虹口区にありて我が病院船に敵弾集注 虹口区にありて我が病院船に敵弾集注

支那側支那兵に我軍攻撃

(上海十日)本日正午浦東側の支那兵に我軍攻撃 虹口区にありて我が病院船に敵弾集注

戦は北支戦線 上海戦線共に戦闘は最近一段と進歩の度を示してゐる

効果発揮！我が海軍の交通遮断

支那側押寄せる燃料餓饉で 弾薬兵器軍需品の製造不可能

(東京十日)我が海軍の交通遮断 支那側押寄せる燃料餓饉で 弾薬兵器軍需品の製造不可能

我が軍艦大碇湾に砲撃

(香港十日)九日午後五時四十分 我が軍艦は廣東に砲撃 大碇湾にありて我が軍艦は廣東に砲撃

戦は北支戦線 上海戦線共に戦闘は最近一段と進歩の度を示してゐる

輸出入の支那食料問題

支那食料問題の支那食料問題

(東京十日)海軍省は支那食料問題の支那食料問題 支那食料問題の支那食料問題

支那食料問題の支那食料問題

支那食料問題の支那食料問題 支那食料問題の支那食料問題

支那食料問題の支那食料問題 支那食料問題の支那食料問題

軍用馬匹調査の重要使命を帯び

突如北米から 岡田親秀騎兵大佐来亜

昨日午前七時、アエノス入港の、サンプリンス号で突如北米から岡田親秀騎兵大佐が来亜。軍用馬調査及び軍省及び我が公館より出迎へるが、着亜直ちにコンチネンタルホテルに投宿、岡田大佐は陸軍本省の命

日本の兵隊さんを慰めたい

亞國娘三人慰問袋に應募

朗明の語題

日会婦人部主催天那出征軍慰問袋募集発表より、六年間も我が公使館に勤め半分の日本人化したやうなフアナさんは慰問袋の動機を訊ねると

「この頃の血金に應募したかったのです。が外国入です。かゝる遠慮しました。けれど今度の慰問袋募集が始まったと聞いた時は何も考へず直ぐ應募する気になりました。炎熱の支那で世界の敵共産主義と戦ふ日本の兵隊さん、私に微意によつて慰めることが出来れば幸でありませう」と語つた。

おつしやる三人のアルヘンティナとは、大阪商船会社支店に勤務のモリトールホル嬢、シモニー、クラウ嬢及び帝國公使館のタイピストさんフアナバルリ嬢で三人とも慰問品については色々と目下考慮中といふが、それとよく口吻

ることになつた三菱商事支店長長房斐夫氏並に神戶加藤物産代表たりし鈴木高平氏の送別会及び三菱支店長後任西沢武雄氏並に鈴木代後任湯沢忠一氏歓迎会が併せて開催、出席者數十名ぶかく盛會であつた。

洗濯店購入に御注意

同人某氏は最近ピアモンテ街某地奥の洗濯店を同果人から購入、預備に築居してゐたが、数日前市衛生課より突然閉店命令を受けたので、已むなく閉店するに至つた。その理由は同店が市衛生課の衛生設備調査に不合格であつた爲で、前店主は不合格を承知しながら

日会役員会

日会の第五回役員会は来る十九日午後五時より(座談会終了後)同会館で開かれるが、議事日程は「職員提唱議案の具体的研究」(各都報告)提案等である。

セントロ人の送迎会催さる

昨十四午後七時半より市内サルミエント街一三九番地レストラン「スカフイデー」に於て近々帰朝される

日会へ寄附

左記の三氏等朝に際し日会へ寄附された、
宮岡謙次
(金二十円)

独逸経済相 シヤハト博士近く辞任か

(ベルリン九日)独逸経済相兼国立銀行総裁ヤルマル、シヤハト博士の辞職説が又々伝へられるが、九日推定ある筋より確明するにシヤハト博士は近く経済相を辞任、但し国立銀行総裁として留任することにある模様である。政界有力筋もシヤハト博士は永く経済相と

大使館に昇格する

ホーランド公使館(東京十日)ホーランド臨時代理公使トライウンスキーは九日外務省に廣田外相を訪問、西園公使館の大改修昇格問題につき協議の結果、来る十一月一日から実施を見ることになつた。

人壽

▲西沢武雄氏(三菱商事支店長)家族同伴ニキヨクから去る三日来亞着任。
▲鈴木高平氏 来る十月十七日出国に向ひ伯国より乗船帰朝と決

龜甲片油一箱	二四〇	推	二二〇	千	瓢内一八〇	味附海苔一箱	二八〇
菊正宗	四五	正庄標白茶	四八	白玉粉	袋七	干そば	一七〇
餅一箱	一八〇	花あられ	一四〇	白ごま	一五〇	干蓮根	袋二〇〇
餅一箱	一七〇	梅海	一六〇	黒ごま	一五〇	味の素	袋二〇〇
焼餅	一四〇	梅干	一三〇	餅	一三〇	全	九〇
種神	一〇〇	中羽煎子	一六〇	梅	一三〇	全	一八〇
全	一〇〇	板昆布	一〇〇	うつきエラ	一三八	小	豆一〇九
馬丁貝	一三〇	若	一〇〇	ウニ樽詰	一五〇	カレー粉	一三〇
赤貝	一三〇	花	一〇〇	輕塩辛	一三〇	割	着袋一四〇
荷	一五〇	高野豆腐	一〇〇	ひじき	袋一八〇	全	一五〇
蟹	一五〇	鮎	一〇〇	切昆布	一〇六	美鳥	一五〇
海苔佃煮	一〇〇	花	一〇〇	龍	一〇〇	クラ	袋一六〇
全	一〇七	浅草海苔	一〇九	寒	一〇〇	全	袋一〇九
奈良漬	一〇〇	凍蒟蒻	一〇七	雙蒲	袋一〇〇	全	袋一〇九

中川商店

市内スアレス街一三〇
一三二(パラス)。八六九

旧軍閥の私兵

旧軍閥時代の支那軍隊といへば、帝督帥前もどきの竹の編笠か、かぶらかき正背負ひ、服装や年齢、武器のまちくぶりは素より、戦争とあつても雨か降れば休むし、夜襲といふやうな戦はやらぬ、況んや白兵戦などは決してやらぬ、只双方が対峙して、そのうち片一方が退却するのを待つて片一方がそこを台領する、逃げる方も攻める方もその地点の標等をけは忘れぬ、かういつた風の谷気極まる戦争風景は、気短か日本人

支那の軍備を解剖する

から見れば敵に歯がゆさを通り越してバカくしくあるのであるが、然し彼等軍閥にとってはそれでも十分に戦争の目的は達せられたのである。

尾山血河、残虐的の打撃を一方が受ける程の決戦を必要としなかつたし、また極力これを避けたりであつた。旧軍閥の間では戦争は決して武力だけでは解決しなかつた。勝敗を決するものは兵力の多寡、金力の大少であつてそれと比べて分明的な大勢は決したものであつた。兵隊が物さしい、金力があるといふのであるから出

蔣介石と共産軍

国民革命軍は蔣介石の創設した

黄埔軍官学校の卒業生を基幹としたものであつたが、この軍隊を中心にして蔣介石の勢力は伸び、而して今日の覇権は樹立されたものであることは周知の通りである。

更に支那軍隊の軍事経験として戦術、訓練の上にも果ては蔣介石の軍隊統制強化に重大な影響を及ぼしたものは一九三〇年かから起されたところの共産軍討伐戦である。共産軍討伐は一九三〇年十二月にその第一回が開始せられ、その後屢度の失敗を重ねた。而して蔣介石の討伐は依然継続せられ一九三三年一月から五月に亘り四回攻撃が開始された。この討伐戦に当り蔣介石は曾國藩の故智はあり、直接の戦場を避けて政治工作に力を注ぎ、砲堡と称する堡塁トイフケガに近敵するものを作つて次第に戦線を進め、持久戦を試みた結果、遂に共産軍の江西ソウエートへの放棄、西遷を促したのであるが、蔣介石が最後に動かし、た兵力は江西方面に約七十万、福建方面に約三十万と称せられた。この大軍を悉く角も刺さる名に於て一千に統制し、複雑な支那軍隊に對し統制が出来るやうにたつたことは実に彼が今日ある所以である。

剿共を名とし、対内対外の問題から一意民心をこれに集中せしめ、その反面に於て自己勢力の拡充を成した蔣介石は、その後に於て

ACADEMIA DE BAILES SARITA CANGALLO 1279

タンゴのオルケスタ

タンサーも多数補充、面目一新

毎日午前九時から午後十二時まで教授

回数券十二回分練習用(ペソ)初歩用(ペソ)

但し日本人の方には限り割引あり

タンゴダンスも教授致します

PROFESORA SARA MUÑOZ

ALMACEN NISHISAKA

日本食料品輸入販売

西坂賢太商店

市内アウストラリア街二〇二

二二二(バラカス)二九五

(値段他豫配迅速)

日本酒新着

白鶴 四合瓶入

菊 四合瓶入

宗 四合瓶入

SANDO Y Cia

DEFENSA 540 (U.T. 33-2295)

CASA NAKAGAWA

SUAREZ 1500 (U.T. 21-0869)

将棋の駒

算盤 (三五〇)

一組 (七〇〇)

蔵田書店

市四カセーロス街一九八三

二二三(アテルゲ)九八七二